

今月のコンテンツ

- 定時社員総会を終えて：理事長からのご報告
- 第1回専門医認定試験を終えて：担当分科会長からのご報告
- 今月のお知らせ
- (広報担当) 秋の情景

理事長からのご報告

令和元年度 一般社団法人社会医学系専門医協会定時社員総会を終えて

社会医学系専門医協会理事長
 国保健所長会名誉会員

うだ ひでのり
 宇田 英典



元号が令和に改まった年の最初の定時社員総会が、9月28日(土)、日本公衆衛生協会において開催されました。当協会の定款では、事業年度は7月1日から6月30日までとされており、事業年度終了後3ヶ月以内に定時社員総会を開催することが定められています。そのため例年、この時期に定時総会が開催されるとともに、新年度の第一回の理事会も総会に先立ち開催されていますので、あわせてご報告させていただきます。

総会に先立って開催された理事会においては、企画調整委員会、専門医・指導医認定委員会、研修プログラム認定委員会、総務・広報・会計の各担当理事等から、活動、事業内容の報告がなされました。社会医学系専門医・指導医認定に関しては、専門医352人(2019年6月16日現在)、指導医2,784人(〃)が認定されている現状が、また、専門研修プログラムと研修施設の認定に関しては、研修プログラム全体として74のプログラムが認定され(2019年9月1日現在)、専攻医350人(2019年9月1日現在)が、38のプログラムを活用して研修が行われている現状が報告されました。

また、8月18日(日)、日本医師会館で初めて実施された「第一回専門医専門医試験」の結果が報告され、今回の試験において25人の受験者数全員の合格が理事会で承認・認定されました。ちなみに、合格者の内訳は、行政・地域が7人、産業・環境が15人、医療が3人でした。さらに平成30年度の監査報告を受けて事業報告、収支決算に関して担当理事からの報告の後、審議が行われました。

総会においては、理事会での審議結果を踏まえ新たに協議が行われた後、平成 30 年度の収支決算は承認されました。また、新たな役員を選任も行われました。監事としては、一般財団法人日本公衆衛生協会理事長の松谷有希雄先生にお願いすることになりました。また、任期満了等にもなう新たな理事の選任も行われ、鶴田憲一先生（全国衛生部長会）、安村誠司先生（全国機関衛生学公衆衛生学教育協議会）のお二人の先生に、今後ご協力をいただくことになりました。

理事会・総会の場において報告された事業報告、収支決算報告にもありましたように、平成 30 年度事業につきましては、社員、理事、業務執行理事、各種委員の皆様ご理解、ご支援のおかげさまで、一定の成果をあげたものと考えております。ただし、社会医学系専門医制度が始まって約 3 年が経過しましたが、まだまだ多くの課題も山積しています。当協会の事業は、役員や委員だけで行われていくものではありません。当協会を構成する 14 学会・団体の社員の先生方の協力のもとより、我が国の社会医学系分野の関係機関・団体、なにより国民の皆様のご理解とご支援が不可欠です。定款に定めた各種事業を、きちんと、継続して進めていくことと周知が不可欠と思います。当協会も努力してまいります。皆様のご協力を今後とも、どうぞ、よろしくお願いいたします。

担当分科会長からのご報告

第 1 回専門医認定試験を実施

専門医・指導医認定委員会
 試験分科会長
 日本公衆衛生学会
 山梨大学

やまがた ぜんたろう
 山縣 然太郎



第 1 回（2019 年度）専門医認定試験が 2019 年 8 月 18 日（日）に日本医師会館で実施された。

受験資格は、専門研修プログラムの専攻医に登録し、原則として 3 年の研修を修了した者である。経過措置として、2019 年度と 2020 年度は、専攻医に登録していない者も受験対象である。ただし、基本条件として、次の 3 条件は必須となる。①2019 年 4 月 1 日現在医歴 5 年以上（4 月中の医籍登録者も含む）、②臨床研修 2 年修了者（2004 年以降に医師国家試験を合格した者に限る）、③社会医学系活動経験 3 年以上（専攻医での専門研修期間を含む）である。

今回の受験生は専攻医の早期終了者 5 名、非専攻医 20 名の合計 25 名であった。主学会は日本産業衛生学会が 16 名、日本公衆衛生学会が 9 名であった。

試験は社会医学系専門医としての質の担保とともに、人材確保の面も考慮して、社会医学系専門医としての知識と技術、態度を客観的に評価。社会医学系専門医として獲得すべき 8 つのコア・コンピテンシーに分類された能力と 7 つの専門知識の習得到達度、および主分野、副分野での実践における専門知識の

習得状況の評価することを目的として、午前中に筆記試験、午後に面接試験とグループワーク試験が行われた。

専門医試験の準備は、2018年5月15日の第1回の試験分科会を皮切りに本格的に始まった。試験分科会が実施要項、実施マニュアル、試験作成マニュアル等の原案を作成し、専門医・指導に認定委員会で審議しながら準備を進めた。試験問題作成は分科会の下に試験問題作成部会を設置して、試験問題出題者を選定・依頼した。試験作成部会は2回にわたって問題のブラッシュアップを行い、試験問題を決定した。

分科会および問題作成部会の委員はホームページに掲載されている。

試験当日は交通機関の乱れなどはなく、受験申請者は全員出席した。試験開始前に試験委員長の宇田英典理事長が受験生にあいさつを行い、試験実施説明の後、試験開始時間とともに厳かに筆記試験が始まった。午後は、1人15分間の面接試験を3人の面接試験員によって実施した。また、面接試験の前後の時間を利用して、1グループ5人で「社会医学専門医は社会にどのような影響を与えるか。」というテーマでグループワーク試験を行った。

試験終了後、試験結果を集計して、専門医・指導医認定委員会と面接試験員による合否判定会議を行い、合格者候補を決定し、理事会に報告することとした。

反省会では、第1回としては比較的順調に実施できたと評価されたもの、試験問題のレベルの評価、グループワーク試験のあり方、来年度受験生が100名を超えることが予想される中での試験監督等の確保などの課題があげられた。これらを改善しながら、社会医学系専門医としてふさわしい人材の認定できる試験制度を確立していく必要がある。

9月の理事会で記念すべき第1回専門医試験の合格者が決定した。祝福申し上げるとともに、社会医学系専門医として矜持をもって仕事を遂行していただくようエールを送りたい。



今月のお知らせ

関連学会の総会/学術大会のお知らせです。

第78回日本公衆衛生学会総会

開催年月日： 2019.10.23（水）-25（金）

テーマ： 実践と研究との協働の深化 ～マインドとコンピテンシー～

代表者： 安田 誠史（高知大学教授）

開催地： 高知市

会場： 高知市文化プラザかるぽーと、ホテル日航高知旭ロイヤル、高知会館、高知新聞放送会館

事務局連絡先： 高知大学教育研究部医療学系連携医学部門（公衆衛生学）

常設事務局 URL： <http://www.jsph.jp/>

開催案内 URL： <http://www.c-linkage.co.jp/jsph78/>

運営事務局： コンベンションリンケージ

TEL：092-437-4188 FAX：092-437-4182 E-mail：jsph78@c-linkage.co.jp



第78回日本公衆衛生学会総会
 The 78th Annual Meeting of Japanese Society of Public Health

HOME
 ご挨拶
 開催概要
 役員・組織
 プログラム
 公募シンポジウム
 演題募集
 優秀演題募集
 International Participant Award
 自由集会
 COIについて
 参加者及び座長・演者へのご案内
 学生の皆さんへ
 取得単位について
 抄録事前申込(参加登録)
 関連・付随事項
 協賛のご案内
 (ランチョンセミナー・広告・展示)
 会場案内
 アクセス
 宿泊案内

実践と研究との協働の深化
 ～マインドとコンピテンシー～

会期 2019年10月23日(水)～25日(金)
 会場 高知市文化プラザかるぽーと /
 ホテル日航高知旭ロイヤル /
 高知会館 / 高知新聞放送会館
 学会長 安田 誠史 高知大学教育研究部医療学系 教授

第57回日本医療・病院管理学会学術総会

開催年月日： 2019.11.02（土）-4（月・休）
 テーマ： 持続可能な地域医療を支える医療・病院管理学
 代表者： 伊藤 弘人（労働者健康安全機構本部研究ディレクター）
 開催地： 新潟市中央区
 会場： 朱鷺メッセ（新潟コンベンションセンター）
 常設事務局 URL： <http://www.jsha.gr.jp/>
 開催案内 URL： <http://www.gakkai.co.jp/jsha57/index.php>
 事務局連絡先： 学会サービス
 TEL：03-3496-6950 FAX：03-3496-2150 E-mail：jsha57@gakkai.co.jp

第57回日本医療・病院管理学会学術総会
**第57回
 日本医療・病院管理学会学術総会**

 持続可能な地域医療を支える
 医療・病院管理学

2019年11月2日（土）・3日（日）・4日（月）
朱鷺メッセ 新潟コンベンションセンター

（〒950-0078 新潟県新潟市中央区万代島6番1号）

 会 長 **伊藤 弘人**
独立行政法人 労働者健康安全機構 本部研究ディレクター
 日本医療・病院管理学会 学術情報担当理事

後 援

新潟県・新潟市・新潟県医師会・新潟県看護協会・
 特定非営利活動法人 地域の包括的医療に関する研究会

第67回日本職業・災害医学会学術大会

開催年月日： 2019.11.09（土）-10（日）
 テーマ： 勤労者医療を支える新たな地平線 ―健康起因事故対策ならびに先進技術の活用
 を中心に―
 代表者： 谷川 武（順天堂大学教授）
 開催地： 東京都千代田区
 会場： 学術総合センター（一橋講堂）
 事務局連絡先： 順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座
 TEL：03-5802-1049 FAX：03-3814-0305 E-mail：syokusai67@juntendo.ac.jp
 常設事務局 URL： <http://www.jsomt.jp/>

開催案内 URL : <https://site.convention.co.jp/jsomt67/>

運営準備室 : 日本コンベンションサービス

TEL : 03-3508-1214 FAX : 03-3508-1302 E-mail : jsomt67@convention.co.jp

第67回 日本職業・災害医学会学術大会

The 67th Annual Meeting of the Japanese Society of Occupational Medicine and Traumatology



Home

重要なお知らせ 2019年07月18日 特別シンポジウムのご案内を掲載いたしました

- 会長ご挨拶
- 開催概要
- 役員・委員
- プログラム
- 演題募集
- 座長・演者の皆様へ
- 各種単位認定
- 参加者へのご案内
- 会場へのアクセス
- 宿泊案内
- リンク

特別シンポジウム
第一次産業における
労災疾病

がんガボ+ がんの
図書館+ がんの
がんの痛み 闘ってきませんか

診療ガイドライン
無料公開

2019年
11月9日(土)・10日(日)

会場 学術総合センター(一橋講堂)

会長 谷川武 (順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座 教授)

第39回医療情報学連合大会 (第20回日本医療情報学会学術大会)

開催年月日 : 2019.11.21 (木) -24 (日)

テーマ : IoT時代の医療情報の利活用

代表者 : 中川 肇 (富山大学附属病院教授)

開催地 : 千葉市

会場 : 幕張メッセ

事務局連絡先 : 富山大学附属病院 医療情報部

TEL : 076-434-5005 E-mail : JCMI39@med.u-toyama.ac.jp

開催案内 URL : <https://jcmi39.org/>

運営準備室 : 株式会社ケイ・メッド

TEL : 03-6803-1522 FAX : 03-6803-1534 E-mail : kobayashi@keimed.co.jp



第39回 医療情報学連合大会
第20回日本医療情報学会学術大会

IoT時代の医療情報の利活用

令和元年(2019年)
 11月21日(木)~24日(日)

会期
 会場 幕張メッセ(千葉市)

大会長 中川 肇(富山大学附属病院)

プログラム委員長：美代 賢吾 (国立国際医療研究センター)
 実行委員長：奥田 保男 (量子科学技術研究開発機構)
 事務局長：辻岡 和孝 (富山大学附属病院)

Home
 大会長挨拶
 開催概要
 企画・演題募集のご案内
 学術プログラム
 参加・宿泊利用の申込
 託児所・授乳室のご案内
 参加者へのご案内
 座長・演者へのご案内
 関連会議のご案内
 協賛のご案内
 利益相反 (COI) 開示
 会議室利用のお申込について
 会場案内
 リンク
 English

第39回 医療情報学連合大会
 JAMI 第20回日本医療情報学会学術大会

秋の情景 (広報担当より)

業務執行理事
 日本衛生学会
 川崎医科大学衛生学

おおつき たけみ
 大槻 剛巳



9月に入っても猛暑の続く2019年、さらに台風の襲来などもあり、豪雨被害(倉敷在住者としては、昨年の西日本豪雨被害を思い出してしまいました~復興はまだまだです)、停電の被害、農作物への被害等、列島全体でも厳しいものがありました。それぞれの先生方の地元はどうだったのでしょうか?

さて、今月号の巻頭でも宇田理事長からご報告頂きましたように、9月28日に社会医学系専門医協会としての令和元年度の理事会、ならびに社員総会が開催され参加してきました。

10時からの理事会は、6月まで事務局をご担当頂いておりました日本公衆衛生協会の公衛ビルの会議

室で開催された（新宿御苑前から徒歩します）のですが、私の大学からは、岡山空港～羽田空港の早朝の便で飛ぶこともできます。また、JRですと、最寄り駅（山陽本線の中庄駅）からは、まず中庄始発の上りの普通列車（5:34 発）で、岡山駅へ。そして岡山駅始発（6:00 発）の新幹線で行きます。品川～新橋～赤坂見附～新宿御苑前でもいいですし、東京まで向かってそのまま丸の内線で新宿御苑前でも行けますが、いずれにしても到着は9:45 前後になります。

私自身は、倉敷からの上京ではJRを使うことが多いので、最寄り駅へ。夏の出張では、始発に乗車する時には、すでに青空も広がっていたのですが、



既に彼岸過ぎ。調べてみますと、この日の夜明けは5:32 とのことで、丁度、夜明けとともに出発したタイミングでした。

さて、理事会と総会については、宇田理事長からのご報告をお読み頂ければよろしいかと存じます。終了後は、研修プログラム認定委員会が設けられていましたが、今回は、そこには参加せず、倉敷に戻ることにしました。さて、予定していた帰路の新幹線までは時間的に少し余裕がありましたので、丸の内線を霞が関で降車して、日比谷公園。



大噴水の前の小音楽堂、そして第二花壇の辺りに人だかりと思って覗いてみますと「日韓交流おまつり」が開催されていました。政治・経済的には厳しい状況にある両国間ですが、このような文化イベントが開催されているのは良いことかと思えます。そして、第一花壇の方に向かいますと、様々な花が咲いている中に、蜜に誘われたアオスジアゲハ（青条揚羽、学名: *Graphium sarpedon*）も見つけました。

さて、スマホで少し早い便に変更して、ここから東京駅までは徒歩にして～倉敷に戻りましょう。実は翌日の日曜日溜まった仕事をこなさなければならぬし。（>0<。）

